

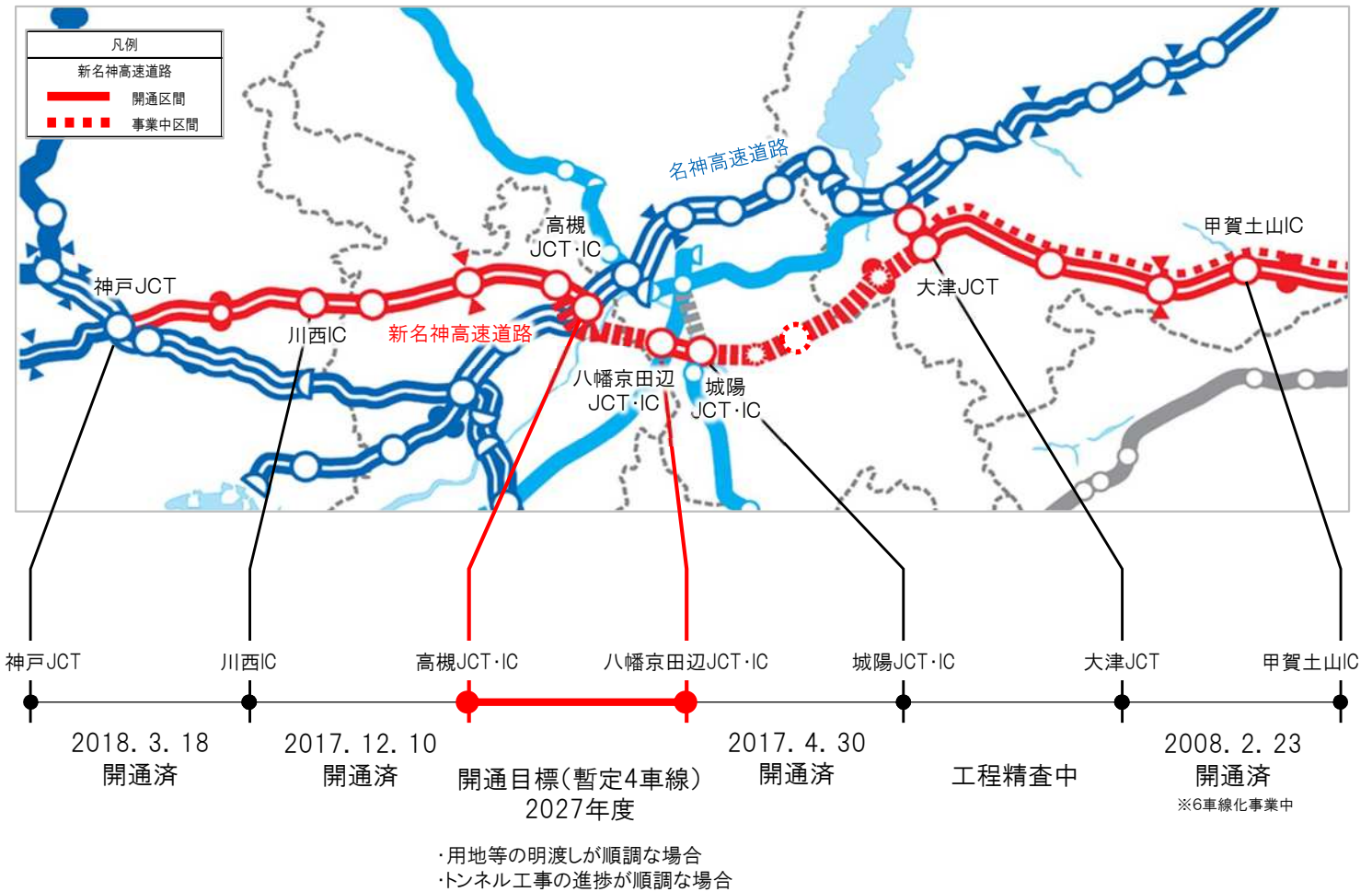
E1A 新名神高速道路(八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間)
連絡調整会議(第3回)

説明資料

2024年12月24日

(1) 事業概要

- 八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間の延長10.7kmにおいて事業中
- 当該区間は、土工区間が約2割、トンネル区間が約4割、橋梁区間も約4割と構造物比率が高い。枚方市域では周辺に工場や住宅が連なる中、大規模な橋梁やトンネル工事を推進中。また、高槻市域では、名神高速道路、国道171号をはじめ、東海道新幹線、JR京都線および阪急京都線の上空を横過する大規模な橋梁工事を推進中

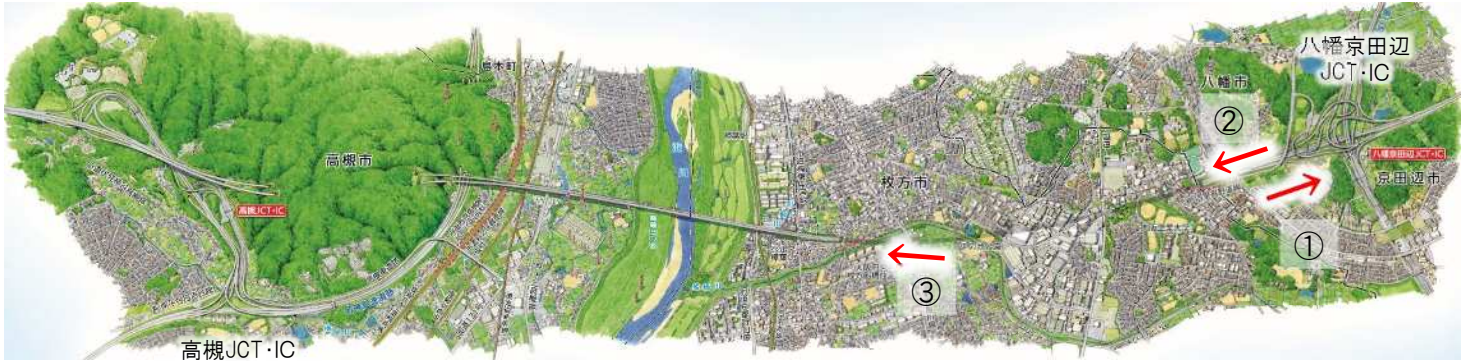


※本資料の事業中区間におけるJCT・IC及び構造物名称は仮称を含む

(2) 工事の進捗状況（八幡市域、枚方市域の概況）

- 八幡市域、枚方市域では、土工工事、トンネル工事、橋梁工事を推進中
- 枚方トンネルでは、トンネル掘進に必要な坑外設備の構築及びシールドマシンの組立作業を実施中

<位置図>



八幡京田辺JCT・ICの整備状況



枚方トンネル東坑口部の整備状況



枚方トンネル西坑口部の整備状況

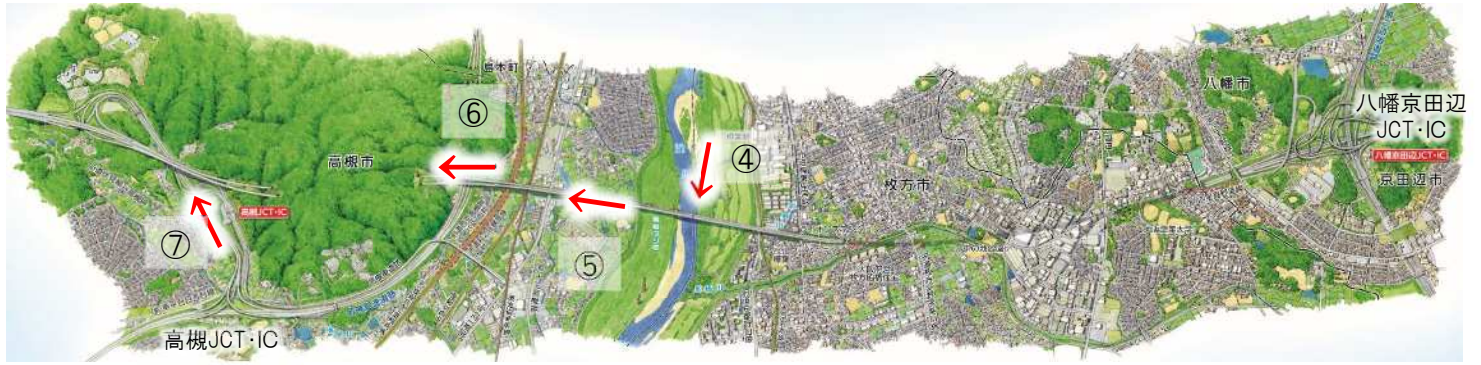


(2024年11月撮影)

(2) 工事の進捗状況（高槻市域の概況）

- 高槻市域では、土工工事、トンネル工事、橋梁工事を推進中
- 高槻JCTの一部で用地取得に時間を要しており、工事が未着手の状況

<位置図>



淀川付近の整備状況



重要幹線交差部の整備状況



梶原トンネルの工事状況



高槻JCT・IC付近の整備状況

(2024年11月撮影)

(3) 枚方トンネルの現状

- 過去に発生した鉄道事業及び道路事業のシールドトンネル工事による地表面陥没事故を受けて行われた有識者によるシールドトンネル施工技術検討会において、「シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン」が令和3年12月に策定
- ガイドラインに基づき、地質調査および泥土圧部が所定の塑性流動性と止水性を満足する配合を確認する試験など、追加の検討を実施
- 配合試験の結果、適切な性状を確保するための添加剤の見直しおよび流動化させた土砂を有効利用するための改質剤の追加により、坑外に設置する改質設備の追加やトンネル掘削に伴う発生土が大幅に増加(約195万 m^3 →約270万 m^3)することによる発生土の搬出先の確保が必要
- 追加の検討および検討結果に基づく坑外設備の追加により時間を要していますが、現在、トンネルの掘削開始に向けて、シールドマシン組立および坑外設備の設置工事を実施中

○ガイドラインに基づく検討

< 配合試験 >



① 地山(掘削土)



② 塑性流動化等の確認

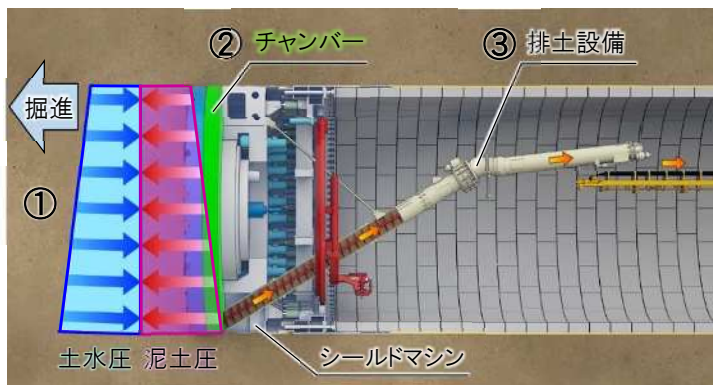


③ 排土時の性状確認



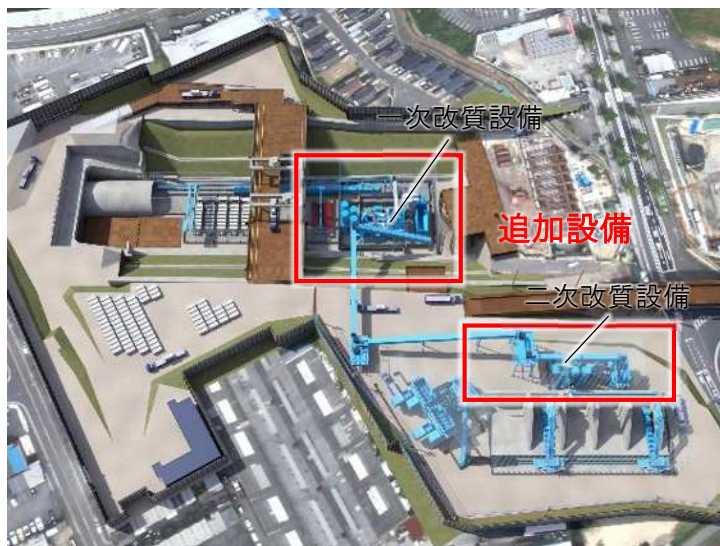
④ 改質による有効利用

< シールド掘削時 >



- ・チャンパーと呼ばれるエリアで、流動化させた土砂の圧力(泥土圧)を調整し、前方地盤の土水圧とのバランスを保ちながら掘進します。
- ・掘削による発生土は、改質したのち有効利用する計画としています。

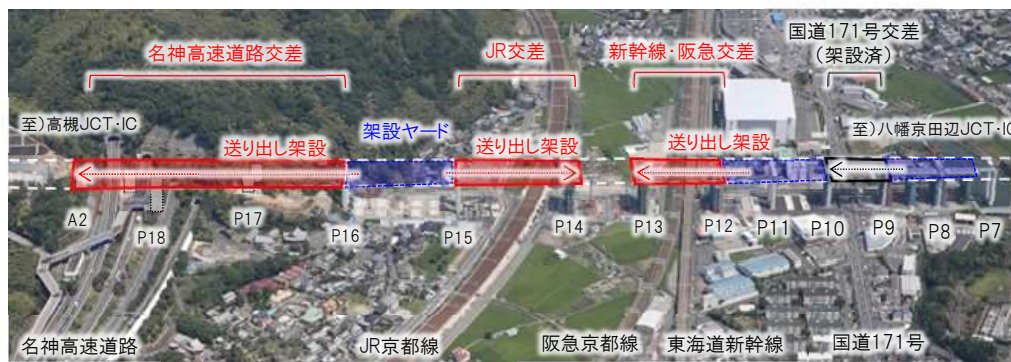
< 改質設備(坑外)の追加 >



(3) 高槻高架橋の現状

- 高槻高架橋は、名神高速道路、国道171号をはじめ、東海道新幹線、JR京都線および阪急京都線といった重要交差物があるほか、住宅が密集しており、狭小な施工ヤードの中、下部工および上部工の工事を推進中
- 現在、国道171号上空の橋桁の架設が完了しており、引き続き、その他重要交差物上空の上部工架設に向けて関係機関との協議・調整を実施中
- 鉄道上空は、夜間で一日の作業時間も限られていることから、橋桁の架設が完了した区間を活用し、組立てた橋桁を送り出し、この作業を繰り返し行いながら架設を行う計画

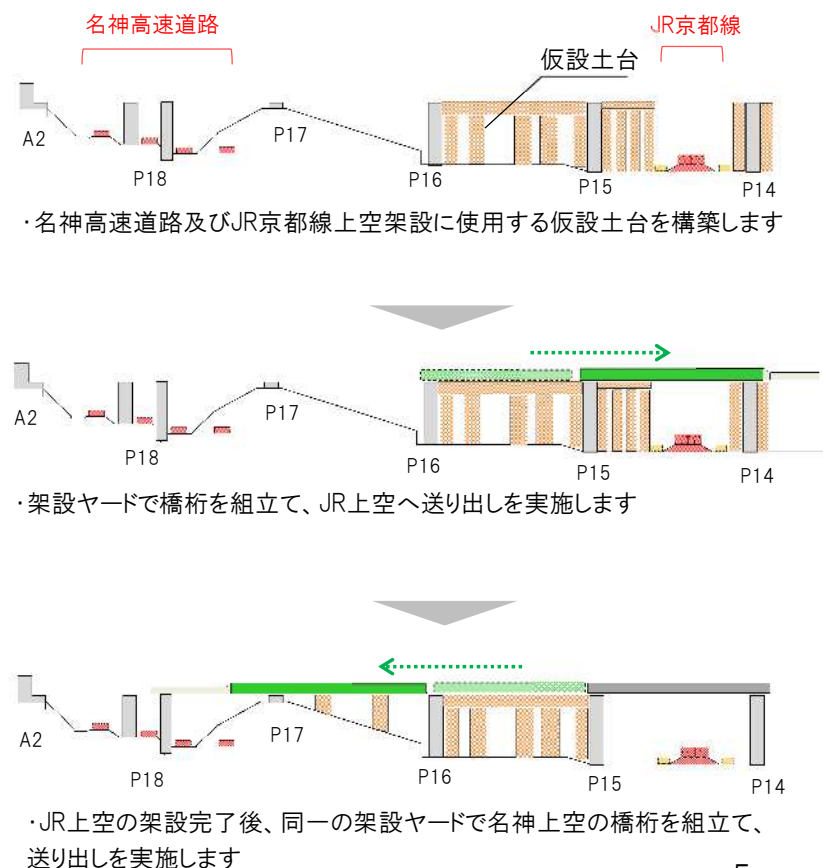
<位置図>



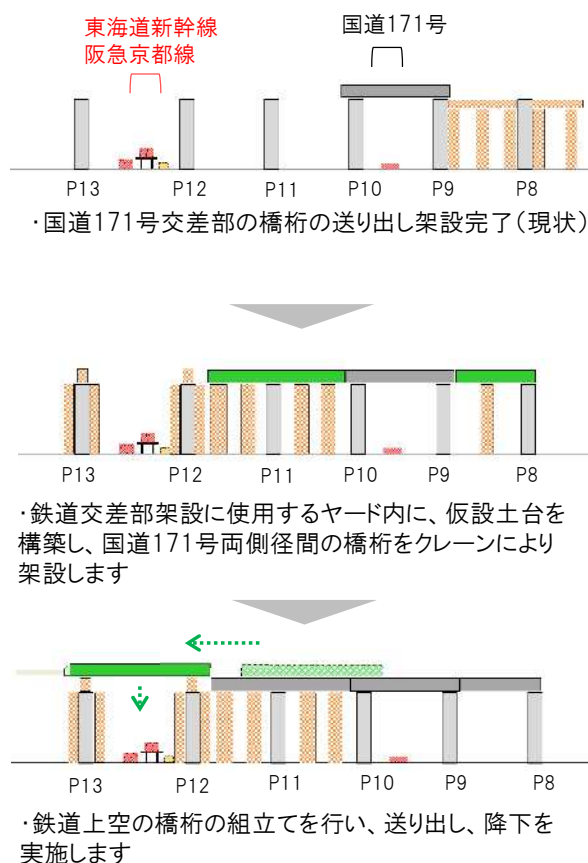
国道171号架設後

<架設順序(イメージ)>

① JR京都線、名神高速道路

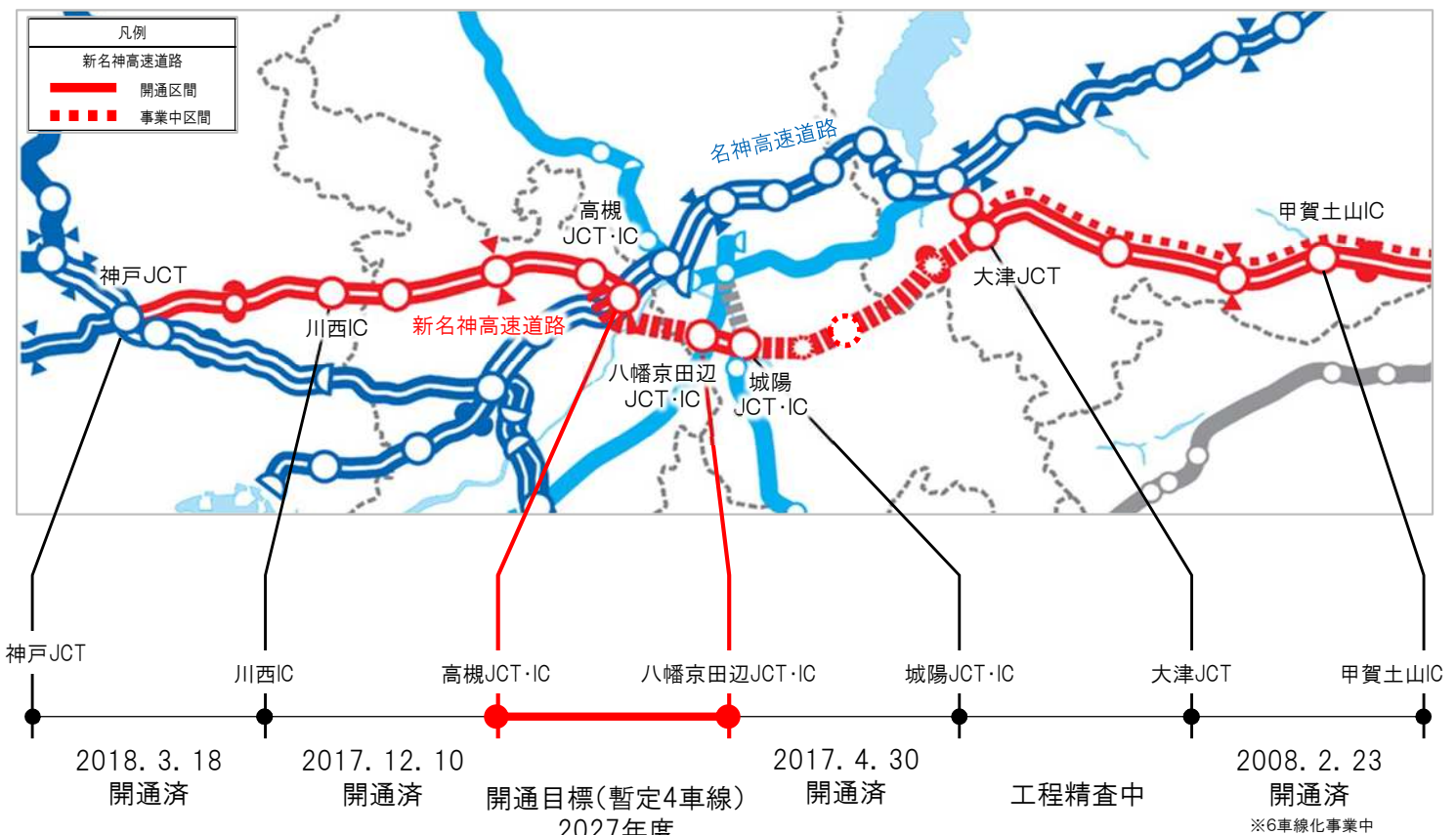


② 国道171号、東海道新幹線、阪急京都線



(4)まとめ

- 高槻JCTの一部で用地取得に時間を要しており、工事が未着手の状況
- 枚方トンネルにおいて、ガイドラインに基づく追加の検討を実施。追加の検討および検討結果に基づく坑外設備の追加により時間を要していますが、現在、トンネルの掘削開始に向けて、シールドマシンの組立および坑外設備の設置工事を実施中。また、追加の検討結果によりトンネル掘削に伴う発生土が大幅に増加することから、発生土の搬出先の確保が必要
- 高槻高架橋において、重要交差物が複数あることから、引き続き関係機関と協議・調整を行いながら、順次、上部工の架設を進める。
- 八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間については、工事の進捗に伴う新たな事象に対応しながら、全線にわたって工事を推進しています。
今後、枚方トンネルの掘削にあたっては、地域住民の安心を確保するため、地盤変位、騒音、振動等について定期的にモニタリングを実施し、適切に情報提供を行いながら細心の注意を払って慎重に掘削工事を進めて参ります。
引き続き、周辺環境および工事の安全を最優先に事業を推進して参りますので、ご理解・ご協力をお願い致します。



・用地等の明渡しが順調な場合
・トンネル工事の進捗が順調な場合